

平成25年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成26年3月末現在) (NO:1)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|---------------|-------------------------------|------|--|--|--|
| 1 土 (1) | H25.04.01 10:50 架空線・埋設物 | 道路 | 市道に導水管の埋設設置のため岩盤掘削作業をしていたところ、不測の位置で岩盤が途切れ、ブレーカーの先端が滑り落ち、事前に確認していた位置と異なる箇所に埋設されていた水道管を破損した。 (物損事故) 公衆災害 | ・埋設物の目視確認をしていなかった。 | ・ブレーカーを使用前に岩盤を露出させる。 ・埋設物の位置を目視確認を行う。 |
| 2 土 (2) | H25.04.8 11:30 立木処理 | 道路 | 道路に張り出した枝をチェーンソーにより伐採作業中、伐った枝が突風により作業員に向かって飛んできたため、これを避けようと左手を離れたところチェーンソーの刃が左手に当たり裂傷した。 男 57歳(左示指・中指挫滅創)約2週間の安静加療を要す | ・跳ね返り等の対処を事前に行っていなかった ・作業性を重視し厚手の手袋を着用しなかった | ・安全教育の徹底 ・皮手袋等の使用を徹底 |
| 3 土 (3) | H25.04.25 16:00 流出 | 河川 | 函渠工掘削作業中、バックホウのブームを引き上げて回転したところ、アーム部の油圧ホース接続部の部品に亀裂が発生し、亀裂から作動油が漏れ、周辺の田、畑、民家、自動車に飛散した。 (物損事故) 公衆災害 | ・部品の劣化、摩耗、疲労によるもの | ・日常点検の強化 |
| 4 土 (4) | H25.04.29 16:45 架空線・埋設物 | 砂防 | 仮設道路設置にあたりバックホウで作業中、入口付近にあった架空線に接触し、電話線支持線が外れた (物損事故) 公衆災害 | ・旋回作業時の注意不足 ・防護管、単管ゲートが事故箇所に設置されていなかった | ・安全教育の徹底 ・防護施設の設置 |
| 5 都 (1) | H25.05.13 11:00 飛来物・落下物 | 建築 | 脚立上で内装天井の石膏ボードをバールで撤去していたところ、ボードがスプリンクラー配管に接触し、跳ね返ってきたボードとバールの間に右手小指と薬指を挟まれ負傷。男 50歳(右環指・小指PIP関節脱臼)約1週間の安静加療を要す。 | ・安易な判断で足場を変更した ・注意喚起を怠った | ・足場の安全性の向上 ・安全教育の徹底 |
| 6 土 (5) | H25.05.21 11:05 工具・資材 | 道路 | 橋梁橋脚に設置されている伸縮装置を撤去する際、撤去部材が引っ掛かり、これを外そうと作業員が近づいたところ突然引っかかりが外れ、作業員の左頬にあたり負傷したもの 男 68歳(頭部外傷、左頬骨骨折、顔面挫滅創)約2週間の加療 | ・縁切りが確実にするまで人力吊りすべきところを始めから機械吊りとしていた | ・人力作業の徹底 |
| 7 土 (6) | H25.05.22 8:45 墜落・転落 | 道路 | 橋梁橋台沓座の測量のため橋台側壁に上り、測量しようとしたところバランスを崩したため、護岸の天端に着地しようとして飛び降りたが着地に失敗し、その後護岸を落下した。 男 44歳(右足関節開放性脱臼骨折)約2カ月の加療 | ・不用意に橋台側壁に登った | ・手すり等の設置 ・安全標識による表示の設置 ・安全教育の徹底 |
| 8 土 (7) | H25.05.23 16:40 墜落・転落 | 砂防 | 堰堤のコンクリート打設のため簡易足場の組立作業中、梯子から足を滑らせ落下し宙吊り状態となり、落下中に左足大腿部を裂傷した 男 35歳(左鼠径部刺創、左大腿静脈損傷、出血性ショック、左恥骨開放性骨折)約1ヶ月間の治療 | ・梯子に滑り止め措置がされていなかった ・安全帯フックを不適当な位置に取り付けていた | ・滑り止めの設置 ・安全教育の徹底 |

平成25年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成26年3月末現在) (NO:2)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|-----------------|-------------------------------|------|--|--|--|
| 9 土 (8) | H25.05.24 10:00 架空線・埋設物 | 道路 | 10トンダンプにて残土置き場へ土砂を搬出後、荷台を下げ切る前に発進したため、残土置き場出入りに架空された、電柱間隔を保持するワイヤーに荷台が当たり切断した。 (物損事故) 公衆災害 | ・荷台の状態を十分に確認しないまま走行した ・防護施設等の対策が行われていなかった | ・目視確認を行うよう周知徹底 ・防護施設を設置する |
| 10 土 (9) | H25.05.25 9:00 墜落・転落 | 道路 | 既設ブロック積の上の落石防護柵設置が完了したため、ブロック積みから単管足場を撤去作業中、作業員が誤って約4mの高さから転落した。男60歳(前額部挫創、右橈骨遠位端骨折、左肘頭粉碎骨折)約8週間の加療 | ・足場の不安定な部分に不用意に乗ってしまった ・安全帯を適正に使用していなかった | ・足場組立、解体作業計画・手順書を作成し周知 ・安全帯の使用状況を監視 ・安全教育の徹底 |
| 11 農 (1) | H25.05.29 11:40 架空線・埋設物 | 農地 | 掘削土をダンプトラックに積み込み、再度掘削しようとしたところバックホウのアームが電力アース線に接触し、ソケット型接続部が外れた。 (物損事故) 公衆災害 | ・監視員が不在であった ・目印設置や注意喚起看板を設置していなかった | ・専従の監視員を配置 ・目印や看板の設置 |
| 12 林 (1) | H25.6.14 11:30 墜落・転落 | 治山 | 仮設排水パイプを取り外すためパイプに乗り、パイプから降りる際にパイプを吊っていたチェーンに接触したためパイプが接続部から外れ、作業員が4m下へ転落した。男49歳(左橈骨遠位端骨折、左膝挫傷、前胸部挫傷、右踵部挫傷)約6週間の安静加療 | ・安全帯を使用していなかった ・安易に考えパイプに乗った | ・安全教育の徹底 ・仮設排水パイプは下方から支える構造とする |
| 13 土 (10) | H25.6.18 16:30 建設機械 | 道路 | 伐採作業中、丸太3本をクレーン機能付きバックホウで吊り上げ運搬しようとしたところ、横転した。 (物損事故) | ・傾斜地で荷を吊り上げ移動しようとした ・クレーン機能に切り替えなかった | ・安全教育の徹底 ・バックホウに注意喚起の掲示 |
| 14 土 (11) | H25.7.9 11:00 草刈・除草 | 河川 | 肩掛け式除草機による除草作業において、隣接する民家の窓ガラスにひび割れが生じた。 (物損事故) 公衆災害 | ・飛散防止対策を取らなかった | ・飛散防止板設置の徹底 |
| 15 土 (12) | H25.7.11 15:50 架空線・埋設物 | 道路 | 転落防止柵の土中用支柱を挿入した際、地中に埋設されていた水道管を破損させた。 (物損事故) 公衆災害 | ・水道管が想定外の位置に埋設されていた | ・試掘等を行い、具体的な位置確認を行う |
| 16 土 (13) | H25.7.23 16:50 架空線・埋設物 | 都市 | 作業終了に伴い、バックホウを回送していたところ、バックホウのアーム部分が架空線に接触し、架空線に緩みが生じた。 (物損事故) 公衆災害 | ・監視員、防護管を設置しなかった ・資格者だが、バックホウの移動を正副以外の者が行った | ・監視員、防護管、目印を設置 ・安全教育の徹底 |

平成25年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成26年3月末現在) (NO:3)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|-----------------|-------------------------------|------|---|---|--|
| 17 土 (14) | H25.8.26 8:30 工具・資材 | 砂防 | 残存型枠資材をクレーンで移動作業中、製品の片側がずり落ち、作業員の右足を負傷した 男 52歳(右第3.4趾基節骨骨折)約3週間の安静加療 | ・1本掛けの玉掛けの場合は締め付けるべきところを怠った ・作業員が型枠を持っていた | ・安全管理の徹底 |
| 18 土 (15) | H25.9.14 16:30 架空線・埋設物 | 道路 | 歩車道境界部にガードパイプ支柱(土中式)を打ち込み中に市水道管を破損した。 (物損事故) 公衆災害 | ・埋設物の事前調査や試掘を行うべきところを怠った | ・事前調査、試掘、報告の徹底 |
| 19 林 (2) | H25.9.23 14:00 墜落・転落 | 治山 | 型枠作業のため梯子に上がっていたところバランスを崩し2m下へ転落した。 男 42歳(右肋骨骨折、右血胸、右前腕挫創)約1ヶ月の療養 | ・作業の焦りからバランスを崩した | ・作業は梯子の使用を止め、足場設置等により作業床を設ける ・安全教育の徹底 |
| 20 土 (16) | H25.10.10 11:05 墜落・転落 | 道路 | 重機を移動しようとしたところ、誤操作によりバケットが旋回し、バケットが作業員に当たり路側の補強土壁下に転落した。 男 64歳(外傷性くも膜下出血、脳挫傷、胸骨・肋骨・椎体・腰椎骨折、肝損傷)約3ヶ月の安静加療 | ・選任された者以外が運転 ・重機を動かす際に退避指示や合図を怠った ・転落防止措置をしていない | ・選任された者が運転する ・重機の旋回範囲内に作業員がいる場合は重機を動かさない ・転落防止措置を講じる |
| 21 土 (17) | H25.10.22 10:50 架空線・埋設物 | 道路 | 照明灯建替え工事においてアースオーガー掘削時に、電話地下埋設管を切断した (物損事故) 公衆災害 | ・事前調査や立会を行うべきだったが怠った | ・事前調査、立会、試掘等を行う |
| 22 土 (18) | H25.11.9 14:30 建設機械 | 道路 | バックホウにて歩道路盤の碎石敷均しを行っていたところ、後退時に後部にいた作業員の右足と接触し負傷した。 男 48歳(右足関節捻挫)全治4週間の見込み | ・近接作業を行った | ・近接作業しないよう徹底する ・重機作業時は見張り員を配置する |
| 23 土 (19) | H25.11.14 9:30 墜落・転落 | 道路 | 橋梁の桁上足場にいた作業員との打ち合わせが終わり、吊足場に降りようとした際、手が安全帯に引っ掛かりフックが外れ、5m下の河川に転落した 男 46歳(右足関節捻挫)約4週間の加療 | ・安全帯を親綱に掛けるべきをフランジ上のジベルに掛けており、適正な使用をしていなかった | ・安全帯の適正な使用を徹底する |
| 24 林 (3) | H25.11.15 11:30 建設機械 | 治山 | 生コンクリートをホッパーに入れ、クレーン仕様のバックホウにて不整地運搬車に積み込む際、バックホウがバランスを崩して横転し、オペレーターが負傷した。 男 47歳(右小指切断、右下腿打撲、右足部打撲挫創) | ・選任された者以外が運転した ・バックホウに定格荷重の表示措置をしていなかった | ・選任された者が運転する ・定格荷重を常時知ることができるよう表示する |

平成25年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成26年3月末現在) (NO:4)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|-----------------|-------------------------------|------|---|--|--|
| 25 農 (2) | H25.11.22 9:32 工具・資材 | 農道 | 橋脚の沓座拡幅にあたり定着用鉄筋を挿入するため、削岩機にて水平に削孔していたところ、ビットが折れ、破損したビットの先端が偏心防止のため支えていた作業員の左手にあたり負傷した。 男 28歳(左薬指挫滅創、左環指末節骨剥離解放骨折)約6週間の加療 | ・径19mmのビットと、ビット径22mm用のロッドを組み合わせていた | ・ロッドとビットは適正な組み合わせで使用する |
| 26 都 (2) | H25.11.25 20:00 交通事故 | 上下水 | 試掘箇所仮舗装を行ったが、舗装がめくれ、段差により一般車両の底部を損傷した。 (物損事故) 公衆災害 | ・加熱合材を使用すべきを、資材調達に間に合わず常温合材を使用した | ・加熱合材の使用を徹底 |
| 27 土 (20) | H25.11.30 10:20 架空線・埋設物 | 道路 | 舗装版破砕中にBH0.45のアームを折り、上げたまま前進したためCATVケーブル線2本を引っ掛け、ケーブル引き込み金具を損傷した。 (物損事故) 公衆災害 | ・架空線管理者との立会や注意看板の設置を怠った | ・管理者との立会や注意看板の設置を徹底する |
| 28 土 (21) | H25.12.6 15:45 架空線・埋設物 | 道路 | コンクリートブレーカー付きバックホウにてガードレール基礎を取り壊し中、ブレーカーが勢い余って露出していた上水道本管を防護コンクリートの上から突き破り、破損させた。 (物損事故) 公衆災害 | ・防護コンクリートに覆われた水道管が施工範囲内にあるにも関わらず、防護措置を取らなかった | ・防護措置(敷き鉄板等による養生)を行う |
| 29 土 (22) | H25.12.10 15:11 墜落・転落 | 道路 | ラス張作業中、作業員が約16mの高さの法面にて、下方へ移動しようとして親綱を左手で握り、右手でロリップを握って下方にスライドさせたところ足が滑り、滑落した。男 63歳(左脛腓骨骨幹部骨折、第2・3・4胸椎棘突起骨折、第2腰椎横突起骨折)約2か月の安静加療 | ・ロリップを握ったままであり、開放状態となっていた | ・ロリップの開放操作は、体を安定させてから行うよう徹底する |
| 30 土 (23) | H25.12.17 11:30 建設機械 | 河川 | 埋戻し作業中、バックホウを移動させようとしたところ、付近に置いてあった転圧機械に接触して落下し、下方で作業していた作業員の背中に当たり負傷した。 男 49歳(第3,4腰椎横突起骨折)全治28日間の見込み | ・上下作業を行った ・転圧機械が落下した場合の安全への配慮が不十分 | ・上下作業とならないよう工程の見直し ・道具類を落下するおそれのある箇所に置かない |
| 31 農 (3) | H26.1.6 11:55 架空線・埋設物 | 農地 | 水路法面の工事に先立ち工事看板を設置しようと、水路路肩に固定用木杭を打設したところ埋設されていた水道管を破損した。 (物損事故) 公衆災害 | ・管理者との立会や試掘により埋設物の正確な位置を確認すべきだったがこれを怠った | ・管理者との立会や試掘の徹底 |
| 32 農 (4) | H26.1.13 15:40 転倒 | 農地 | 法面整形の丁張の水系を張りなおそうと、作業員が方向転換した際に転倒した。 男 59歳(左足関節脱臼骨折)約3ヶ月間の安静加療 | ・作業員への危機管理意識の徹底が不足していた | ・KY活動を朝昼の2回行い終日危機管理について意識させる |

平成25年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成26年3月末現在) (NO:5)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|-----------------|------------------------------|------|---|--|--------------------------------------|
| 33 土 (24) | H26.1.16 16:00 架空線・埋設物 | 河川 | ゲートを設置する箇所の地質を把握するため、ボーリング調査を実施していたところ、地下に埋設されていた上水道管のさや管を損傷させた。 (物損事故) 公衆災害 | ・埋設物の事前調査を怠った | ・埋設物調査の徹底 |
| 34 農 (5) | H26.1.20 12:40 交通事故 | 農地 | 4トンユニック車を現場小屋から会社へ移動させようとして、クレーンを伸ばしたまま走行したため、道路の案内看板に衝突したことにより、破損させた。 (物損事故) 公衆災害 | ・クレーン付き車両であることの認識が不足 ・監督者が不在で車両及び周囲の安全確認ができなかった | ・安全教育の徹底 ・指差呼称の徹底と運転席に注意喚起を表示 |
| 35 土 (25) | H26.1.22 16:10 架空線・埋設物 | 道路 | 水道管が埋設されている箇所において、保護砂と埋設テープを目標して機械掘削していたところ、保護砂と埋設テープがなく直接水道管が露出したため、水道管を破損させた。 (物損事故) 公衆災害 | ・埋設物の事前調査、立会、試掘を怠った | ・埋設物の事前調査、立会、試掘を行う |
| 36 土 (26) | H26.1.29 11:20 建設機械 | 河川 | 錨に押船の吊上用ワイヤーを接続していたところ、錨が土運船の船底に引っかかり、アンカーが回転して吊上用ワイヤーが引っ張られたため、滑車が破断し作業員の足元に落下して右足を負傷した 男 49歳 (右足挫滅創、右母指基節骨骨折他) 2か月間の安静加療 | ・錨を巻き上げすぎていた ・滑車が腐食やすり減りにより強度低下を起こしていた | ・作業手順書の見直し ・外観目視や打音検査を実施する |
| 37 林 (4) | H26.1.31 10:20 工具・資材 | 治山 | 法面清掃を行うにあたり、チェーンソー整備していた際に、チェーンソーで手を切った 男 34歳 (左示指挫創) 約2週間の加療 | ・作業員への危機管理意識の徹底が不足していた ・刃に耐えうる材質の手袋を使用していなかった | ・危機管理意識の徹底 ・切刃付きの工具を触る場合は皮手袋を使用する |
| 38 土 (27) | H26.1.31 8:30 転倒 | 道路 | 坑内作業中、電源ケーブルにつまづき転倒した 男 41歳 (左手舟状骨骨折、右膝部挫傷) | ・作業員への危機管理意識の徹底が不足していた | ・足元注意の立て看板を設置し注意喚起する |
| 39 林 (5) | H26.2.4 14:30 工具・資材 | 治山 | 型枠設置に必要な引張りアンカー用の鉄筋打ち込み時に、削孔した穴に溜まった水が飛び跳ねるのをきらい、左足で鉄筋を支えつつ穴を塞いで打ち込みしていたところ、手元が狂い石頭ハンマーで足を叩き負傷した 男 45歳 (左第5趾基節骨骨折) 4週間の加療 | ・作業員の危機管理意識の不足 | ・危機管理意識の徹底 |
| 40 土 (28) | H26.2.8 7:30 転倒 | 河川 | 資材搬入路(堤防道路)の舗装養生のため設置されていた敷鉄板上(5cm程度積雪あり)で、周辺住民が滑って転倒した (人身事故) 公衆災害 | ・現場パトロールが実施されておらず降雪への危機管理意識が不足していた | ・毎朝夕巡視を行い、降雪時はいち早く除雪を行う |

平成25年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成26年3月末現在) (NO:6)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|-----------------|------------------------------|------|---|--|--|
| 41 土 (29) | H26.2.12 8:30 墜落・転落 | 道路 | 防災点検調査を行う前に下見のため、一人で植栽擁壁(H=4m)を伝って擁壁上端まで上り、下見を終えて擁壁を伝い道路に降りようとした際に、擁壁の中段付近でバランスを崩し、約2m下の道路まで落下し負傷した 男 52歳(右足関節脱臼骨折) | ・単独行動を行った ・調査の進入ルートが周知されていない | ・点検作業は2名以上とし、単独行動を禁止する ・調査着手前に常に安全な進入路を確認する |
| 42 土 (30) | H26.2.12 16:00 架空線・埋設物 | 道路 | 作業終了後に使用機械のバックホウを撤去作業するため、トレーラーに積み込みをする際に、バックホウのアームが架空線に接触し引き込み線と引き込み柱を損傷させた。 (物損事故) 公衆災害 | ・監視員を配置していなかった ・注意喚起表示がされていない | ・監視員を配置する ・注意喚起看板を設置する |
| 43 土 (31) | H26.2.13 16:00 その他 | 河川 | 河川内にて護岸ブロック積工を施工していたところ、隣接する民有地の空石積と工場にクラックが生じた (物損事故) 公衆災害 | ・調査中 | ・調査中 |
| 44 土 (32) | H26.2.17 16:15 架空線・埋設物 | 道路 | 作業終了後、バックホウを移動させるために仮設坂路を走行中に架空線にバックホウのアームが引っ掛かり切断させた (物損事故) 公衆災害 | ・運転手の危機管理意識不足 ・監視員が不在であった | ・危機管理意識の徹底 ・作業ごとに常時監視員を配置する |
| 45 土 (33) | H26.2.23 15:20 転倒 | 道路 | 舗装版を撤去し、段差擦り付けを施工する準備をしていたところ、自転車が施工箇所を通過し、段差擦り付け部で転倒し負傷した (人身事故) 公衆災害 | ・現場内の交通誘導員を配置していなかった ・擦り付け施工を完了する前に現場開放した | ・交通誘導員を配置する ・擦り付け施工後に開放するよう徹底する |
| 46 土 (34) | H26.3.8 10:30 架空線・埋設物 | 道路 | 路床整正時に発生した残土をバックホウで集め、ダンプトラックに積み込む作業をしていたところ、別工事で既に布設されていた上水道管の位置を事前に把握していたが、バックホウの爪にて上水道管を破損させた (物損事故) 公衆災害 | ・作業員の操作ミス | ・安全管理の徹底 |
| 47 土 (35) | H26.3.8 11:00 工具・資材 | 道路 | アーチ橋の高欄でのケレン作業中、塗膜を削る電動工具が破損し、破損した電動工具の部品が作業員の右足に当たり負傷した 男 58歳(右下腿開放性骨折) 4週間の加療 | ・工具を作業面に対し平行に接地させる「ベタ当て」施工をしていなかった | ・工具の適切な使用方法を順守する |
| 48 土 (36) | H26.3.14 17:00 交通事故 | 道路 | 溶接機を車両にて隣接現場に運搬したのち、現場へ戻るために転回しようとして、川側へ車の頭を振って切り返すため、ブレーキを踏んだところ踏み外し、車がそのまま前進し続けて約5m下の河川に転落した 男 34歳(外傷性頸部症候群、脳震盪) | ・現場内で安易に車両を転回しようとした | ・搬入・搬出経路や転回場を明確化する ・作業員への安全指導の徹底 |

平成25年度 県の建設工事等に伴う事故発生状況一覧表 (平成26年3月末現在) (NO:7)

| NO | 発生日時 | 工事種別 | 事故概要 | 事故の原因等 | 防止対策 |
|-----------------|------------------------------|------|--|---|--|
| 49 土 (37) | H26.3.24 9:50 建設機械 | 河川 | バックホウオペレーターが河道内堆積土砂を掘削していたところ、ゴミ・木片収集作業をしていた別工事の作業員が木片を拾いに重機の旋回範囲に入ったことに気付かず旋回し、作業員がバケット側面に接触し負傷させた。(人身事故) 公衆災害 | ・別工事との連絡会議を行っていなかった ・バックホウの旋回範囲内に作業員が立ち入った | ・連絡会議実施の徹底 ・旋回範囲内に立ち入らないよう安全柵等を設置し、お互いの工事の作業範囲を明確にする。 |
| 50 土 (38) | H26.3.27 8:40 墜落・転落 | 道路 | 法面にて横移動するために親綱に固定していたロリップ金具を外して移動する方向の親綱に付け替えようとしたところ、足が滑り、約12mの斜面を滑落し道路へ落下して負傷した 男 68歳(心膜損傷、左血気胸、骨盤骨折)3か月以上の入院加療 | ・親綱とロリップ金具が連結していない状態となっていた ・作業員の危機管理意識欠如 | ・ロリップ金具の2丁掛けの完全実施 ・安全教育、監視の徹底 |
| 51 農 (6) | H26.3.31 11:07 架空線・埋設物 | 農地 | 事前に把握していた埋設管を確認するため、埋設テープ・保護砂を目標に少しずつ掘削していたが、埋設テープや保護砂が出現することなく埋設管が出現してバックホウの爪でひっかけ損傷させた(物損事故) 公衆災害 | ・試掘にあたり機械施工していた | ・人力掘削の徹底 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |